

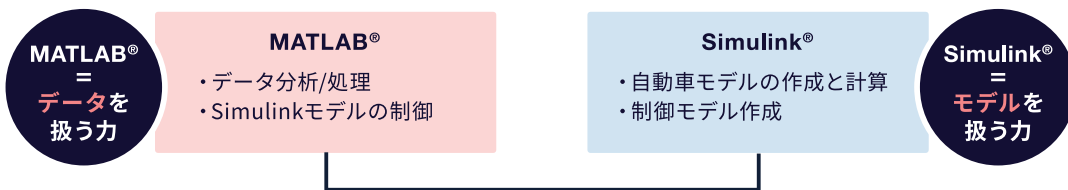
科学技術計算リテラシー 強化ワークショップ

- レース視点で学ぶデータ処理と物理モデリング | MATLAB®/Simulink®の活用 -

技術者なら誰もが習得すべき
ものづくりの共通言語 × 現場で生きる即戦力

科学技術計算リテラシー強化ワークショップ

(MATLAB®/Simulink®は機能が豊富：以下は一つの側面から見た例)



- ・Simulink®で作成した計算モデルをMATLAB®側でfor文により繰り返し計算
- ・Simulink®で作成した計算モデルの内部パラメータをMATLAB®側で最適化

科学技術計算リテラシー強化ワークショップ

専門領域によってMATLAB®/Simulink®の使い方は異なるため、専門に特化した使い方が必要
当講座はレース現場という具体的な状況を想定し、科学技術計算リテラシーが強化されます

講座概要

データ分析

1. データ分析ハンズオン
2. 時系列データ処理
 - 2.1. 走行試験データの可視化と観察
 - 2.2. 走行経路の推定
3. 周波数領域データ処理
 - 3.1. 走行車両に発生する振動解析
 - 3.2. 走行中の振動を抽出するためのフィルタ処理

モデリング

4. モデリングハンズオン
5. 車両モデリング・ステップアップ
 - 5.1. 1-DOFスプリング-マスモデルで学ぶモデリング
 - 5.2. マルチボディ拡張による詳細度を増した検討



受講形態 講義・演習

受講期間 1日間（7時間）

受講料 700,000円（税込770,000円） / 1開催

※集合研修をご希望の場合、別途講師の交通費が発生する場合がございます。
詳しくはお問い合わせください。

